

平成26年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立 楠見中 学校
作成日	平成 27 年 2 月 26 日

1 教育目標

たがいに温かく 自己にはきびしく
進んで 知を磨き 心を養い 体を鍛えていく たくましい生徒を育てる

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標に対する意見	学校行事の実施時の連絡や調整は、学校が家庭、地域に積極的に関わりを持つことを常に意識することにつながり、開かれた学校づくりに取り組む姿勢が感じられる目標です。	道徳教育や人権・同和教育を進めることは規範意識を高めたり、情操面を高めることにつながる。また、生徒一人ひとりの心に響くような取組目標は、生徒や保護者との信頼関係が深まる目標である。	学習規律の確立や基礎基本の定着は学校の取組だけではなく、保護者の理解・協力が必要となるので、その目標も適切だと考える。
取組の状況に対する意見	地域の行事に積極的に参加したり、地域の関係機関との連携を大切にしていることは評価できる。今後は、保護者への理解・協力をどのように取り組んでいくかが課題と思われる。	電子機器や携帯端末のユーチューブ・ツイッター・ラインなどの影響を考えた教育内容を検討してはどうか。また、言葉の乱れが気になる昨今、人権教育を進め、言葉の重みや命の大切さをしっかり教えてほしい。	基礎学力の向上に効果的な複数の先生による授業や、少人数の学習集団に分けての指導を考えてみてはどうか。学校と家庭の両面からの取組によって、基礎基本の確実な定着が実現できるものである。
検証結果に対する意見	地域行事への参加、体育祭の日曜開催等は、学校、家庭、地域が連携するためのよい機会となったが、保護者の参加が少ないように感じる。もっと参加者が多くなるよう努力する必要がある。	教員が昼休憩など職員室から出て授業に集中していない生徒に和やかに対応していることで、生徒が穏やかな表情で会話ができていたと思う。今後も指導方法を工夫するとともに、粘り強く関わることで規範意識を浸透させてほしい。	テスト前の基礎学力講座や懇談会時の補習など放課後学習や、工夫しながらの学力向上に向けた取組は理解できる。今後は、生徒が受け身の授業ではなく、活動的で意欲的に発言したり教え合う授業を考える。宿題などの課題を多くだし家庭学習の大切さを保護者に訴えていく。
改善方法に向けての意見	体育祭の日曜開催を地域では楽しみにしている人も多いので続けてほしい。また、三者(学校、家庭、地域)の連携、協力体制は不可欠と考えているので、関わりを持てる機会を増やしてほしい。	今後も、問題のある発言や行為の解決に向け、連携を深める。また、地域の声や願いを聞く場所を設定し定期的な意見交換を続けてほしい。	落ち着いた環境の中で、生徒がよくわかり、学ぶ意欲を高めるような授業とともに、生徒一人ひとりに応じた指導をさらに充実させ、基礎学力の向上に繋げていってほしい。

3 その他のご意見

アンケート結果を見て「将来の夢を持っているか」について、持っていると言う積極的な意見の回答が多かったので安心しました。校風というか先生方の人柄の明るさ、温かさ故だと考えています。地域としても子どもたちの生活把握し思いを理解し学校と共に歩んでいけるよう努力したいと思います。